



特別支援学級 ICT 活用事例集

目 次

1. R3 年度(2021) 研究授業指導案	P 1
2. R4 年度(2022) 研究授業指導案	P11
3. R5年度(2023)研究授業指導案 (学習指導要領コード対応)	P20



大阪市立滝川小学校

特別支援学級指導案

指導者 山田 有佳
 榮 隆弘
 東原 美鈴

1. 日 時 令和4年2月2日（水）第5校時（13：25～14：10）
2. 学年・組 のびのび学級 1組・2組・3組 計9名
 （2年生2名、3年生3名、4年生4名）
3. 場 所 多目的室（新館5階）
4. 単元名 買い物学習（「買い物ごっこ」をしよう）
5. 単元目標 自分の力にあった買い物ができる
6. 単元間の関連

生活	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な買い物をして、金銭の取り扱いに慣れる。 ・身近な人と自分との関りが分かり、簡単な対応などをする。 ・家庭や社会の様子に興味や関心を深めその働きをする。
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・話の内容を聞き取る。 ・自分の考えを話す。 ・質問の応じた返答をする。 ・文字を正しく読む。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・お金の種類や数え方を理解する。 ・数字を正しく読む。 ・たし算の意味が分かる。 ・代金を計算し、お金のやり取りをすることができる。（計算機可）
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・道具を正しく使う。 ・手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、工夫して創造的につくったりすることができる。 ・進んで活動に取り組み、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉をはっきり話せるようになる。 6-（2） ・場に応じた言葉づかいができるようになる。 6-（3） ・自分の考えを相手に伝える。 ・コミュニケーションを高める。 ・店内でのマナーを理解する。

特別支援学校学習指導要領「生活」の目標「日常生活の基本的な習慣を身に付け、集団への参加に必要な態度や技能を養うとともに、自分と身近な社会や自然との関りについての関心を深め、自立的な生活をするための基礎的能力と態度を育てる。」に基づき、その内容の「9. 金銭」について各児童の実態に合う段階に応じて構成する。

本単元で扱う「買い物」はお金を商店に支払うことによって、欲しい品物を手に入れる行為である。そこで、

お金の認識・価値・単位・数え方が必要になり、これらができて初めて自立した買い物ができることになる。

社会的自立に向けて、自分でお金を持って買い物に行く経験をするのが大切であると考え、発達段に合わせた買い物の類似活動をさせたい。日常生活との関りを持たせるために、レジ係になって品物を売ったり、お客さんになって買い物をしたりする活動を取り入れる。お金と引き換えに品物をもらうやり取りは児童の関心を持ちやすく、日常生活につなげることができ自立的な生活をするための基礎的な力であるとする。教科・領域を合わせた生活単元で主体的な活動を展開していくことで、金銭の取り扱いに慣れお金の価値や意味を次第に分かり、社会への適応の自信に繋がると考える。また、買い物を通した活動の中で言語活動を充実させながら、あいさつや受け答えなどコミュニケーションの仕方や、はっきりとした話し方、場に応じた言葉づかいなどを学ばせたい。

(児童の実態について)

現在、のびのび学級に在籍する児童は22名おり、そのうち14名（2年生2名、3年生3名、4年生2名、5年生4名、6年生3名）が抽出して個別の指導（学習）をしている。在籍児童は学年や発達段階が異なるため、個別の支援計画・指導計画をもとに一人一人課題を設定し、学級やのびのび学級で学習をしている。また、月1～2回ののびのびタイムを設け、異学年で集まって制作やゲームなど意欲的に活動し、交流を図っている。

本時では、2・3・4年生の9名の児童を対象に学習計画を作成した。児童の課題は次のとおりである。

学 年	買い物に関する児童の実態	つきたい力（本時の個別目標）
2年A児 (A.S)	・一人で買い物をしたことがある。	・コミュニケーション力を高める。 ・丁寧な言葉づかいをする。
2年B児 (H.G)	・一人で買い物をしたことがない。 ・保護者と一緒に初めて買い物をしたが、お金をいつ払うかなど、少し戸惑っていた。	・買い物をする経験を増やす。 ・進んで活動に取り組み、言葉をはっきり話せるようになる。
3年C児 (H.Y)	・一人で買い物をしたことがない。 ・自分でお金の計算ができない。	・自分で代金やおつりの計算ができる。 ・手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、工夫してつくったりすることができる。 ・合計金額を計算できるようになる。
3年D児 (T.R0)	・一人で買い物をしたことがない。	・予算内で買い物ができるように品物を選ぶ。 ・お店での買い物のやり取りを通して、コミュニケーション力を高める。
3年E児 (T.RN)	・一人で買い物をしたことがない。	・自分で代金やおつりの計算ができる。 ・お店での買い物のやり取りを通して、コミュニケーション力を高める。
4年F児 (A.Y)	・一人で買い物をしたことがない。 ・おごりおごられるということがあった。	・品物を取捨選択し必要な物を買う。 ・店内でのマナーを理解する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・予算内に買い物をする。 ・おつりを理解する。
4年G児 (H.M)	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で買い物をしたことがない。 ・「〇〇を作るには何がいるか」を考えて買い物の計画を立てることができるようになってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、工夫して創造的につくったりすることができる。 ・お店での買い物のやり取りを通して、コミュニケーション力を高める。 ・「〇〇を作るには何がいるか」を考えて買い物の計画を立てることができる。
4年H児 (Y.Y)	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で買い物をしたことがある。 ・計算に不安があり、所持金に余裕があっても買うことを諦めてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お店での買い物のやり取りを通して、コミュニケーション力を高める。 ・場に応じた言葉づかいができるようになる。 ・合計金額を計算できるようになる。
4年I児 (M.A)	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で買い物をしたことがある。 ・だいたいの合計金額の計算がすぐにできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで活動に取り組み、形や色などに関わり楽しくお店屋さんに係わるものを作っていこうとする態度を養う。 ・自分の考えを相手に伝える。 ・合計金額を計算できるようになる。

6. 評価基準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学びに向かう力
<ul style="list-style-type: none"> ・金銭の見分け方や数え方を理解することができる。 ・たし算やひき算を計算することができる。(計算機可) ・金銭の見分け方や数え方を理解し、簡単な買い物ができる。 ・買う物の値段を調べることができる。 ・買い物の仕方が分かる。 ・お金の払い方ができる。 ・買いたい物の合計金額を計算し、お金を出したりおつりを渡したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な品物を選んだり、自分の欲しいものを選んだりすることができる。 ・「売り手」「買い手」の立場を理解して、人と応対することができる。 ・作りたい物について考え、調べることができる。 ・活動を振り返ることができる。 ・友達の良かったことや、頑張っていたことを伝えることができる。 ・自分の頑張りを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物ごっこに参加しようとする。 ・買い物ごっこに関心を持ち、買い物の楽しさを味わいながら、活動に意欲的に取り組むことができる。 ・ごっこ遊びに関心を持ち、進んで品物を集めたり作ったりすることができる。 ・友達と協力して活動することができる。

	情報活用スキル	S	A	B	C	実際の活動例
収集	インターネットで調べる	引用するサイトの信頼性を見極めるとともに、他のサイトの情報と比較して判断することができる。	引用するサイトの出所元を意識し、その信頼性を見極めることができる。	キーワードを入れて検索結果から必要な情報を選択することができる。	ブラウザを起動して検索したい情報のキーワードを入力できる。	スーパーの工夫を、インターネットで調べる。品物の陳列の様子。レジの配置、商品のPRなどに気付かせる。
	写真を撮る	撮影の目的・条件設定を念頭に置いて撮影し、撮影した写真を確認。管理できる。	撮影する写真の用途を意識し、肖像権や撮影禁止場所等に配慮しながら撮影できる。	対象物との距離、アングル、明るさ等意識して撮影できる。	安全や故障（落下・水没等）に気をつけて、写真を撮ることができる。	スーパーの中の写真を撮る。陳列の仕方、場所、のぼり、チラシなど
整理・分析	分類整理する。	アドバイスなしに、集めた情報を根拠を明確にし、項目ごとに分けて整理することができる。	アドバイスを受けながら情報を内容ごとに仲間分けして可視化することができる。	気付いたことを発表することができる。		写真から、スーパーの工夫、お店づくりのために何が必要なのかを見つける。
編集	タイピング	ローマ字入力で文章が入力できる。（変換表を見ないで）	ローマ字変換表をみながら、ローマ字入力で文章が入力できる。	支援なしで簡単操作で文章を入力できる。	支援を受けながら指書き又は簡単操作で文章を入力することができる。	授業の感想を入力する。
	ワープロソフト基本操作	必要に応じて、縦書き・横書き、テンプレートなどを選んで活用できる。	中央揃え、右寄せ、タブなどを用いて文書を整頓して作成できる。	文字の大きさ、文字種・色の変更・ルビ、改行、削除・挿入等ができる。	文章を入力していくことができる。	授業の感想を入力する。お店が看板、のぼり、チラシなどを製作する。
表現・発信	発表する	伝える相手を意識して、相手の反応をみながら発表することができる。	相手の方を見て、気付いたことを簡潔に伝えることができる。	支援を受けながら、気付いたことを簡潔に伝えることができる。	支援を受けながら、気付いたこと・よかったことを短く発表することができる。	本時の撮影したビデオを見て、（お店屋さん体験）気付いたことを発表する。

7. 指導にあたって

本単元では、金種とお金の価値や商店の役割と内容や買い物の仕組みなどを、お金の学習やごっこ遊びなどを通して理解する活動である。3年生は生活経験（買い物）ライフスキルが弱いことや、4年生の児童はお金の使い方（おごり・おごられ）やお金の重要性を知ることが重要である。

第一次では、お金の種類（硬貨）を知り、模型の硬貨を使って種類ごとに並べ、両替ができるようにする。そして、お金の模型を使って、たし算やひき算ができるようにする。その際に計算機を使ってもいいことにし、計算をすることに時間を取らず計算した答えの金額を並べることができるようにする。両替をするときには、等価関係ヒントカードを提示し、「1円玉が5枚で5円」や「10円玉が5枚で50円」になるという等価関係を視覚的に理解しやすくする。また、お金の計算をするときには、もらったお金、値段、おつりを位に分けて記録できるワークシートと位ごとに分けてお金を出すことができるキャッシュトレイを用意し、位に注意しながら計算ができるようにする。

第2次では、「スーパーたきがわ」を作ることを知らせ、スーパーに並んでいる品物を考えさせ品物を作っていくようにし、品物を作る時には、はさみ等の道具の使い方に気を付けるようにする。値札やチラシ、お客さんにかかる言葉なども考え店側は品物を売りたい、買ってほしいという気持ちを高めることができるようにする。お客さん側は、店員さんにかかる言葉を考えるようにする。（これください。いくらですか。など）気持ちよく買い物ができるようにするために必要なことを出させるようにする。活動の興味が持続するようにチ

ラシや自分が食べたお菓子や食品の袋や箱を集めたり、ごっこ遊びをしたりおつかいや買い物ができる環境を整えておく。そして、教師が見本となる行動を実際にやって見せたり、写真やビデオを使って説明したりする工夫をするようにする。

本時では、前時で買い物ごっこをした様子をビデオに撮ったものを見て良かったところや、気を付けた方がいいところを発表し良かったところは真似るようにする。自分で買いたいものを選んで、値札から値段を読み取りお金を出して品物を買うようにする。計算が苦手な児童には計算機を使っていいことを伝える。お店役になったときには、「いらっしゃいませ」、「〇〇円になります」、「おつりは〇〇円です」などのようにコミュニケーションをとることができるように、レジの横に貼ってみることができるようにする。お客さん役になったときには、「これください」、「いくらですか」、「ありがとうございます」などのコミュニケーションをとることができるようにしたい。店員さんとお客さん役を途中で交代をし、両方を体験できるようにする。

第3次では、買い物学習をやったの感想や、実際に買い物をして感じたことを絵や文で書くようにする。

8. 学習計画 (全8時間)

	時	主な学習活動	評価基準	ICT 活用 情報活用スキル※
お金の学習しよう	1 ・ 2 ・ 3	①お金の学習をする。 ②計算を学習する。 (たし算・ひき算) ③支払いのやり取り、おつりの学習をする。	・金銭の見分け方や数え方を理解し、簡単な買い物ができる。【知識及び技能】 ・買い物に関心を持ち、活動に意欲的に取り組むことができる。【主体的に学びに向かう力】	・SKY MENU ・スクール ライフノート
お店の準備と買い物をしよう	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 本時	④買い物ごっこの計画を立てる。 ⑤品物を作る。 ⑥模擬店を作る。 ⑦役割で準備し、買い物ごっこをする。 ⑧買い物ごっこをする。	・買い物に関心を持ち、買い物の楽しさを味わいながら、活動に意欲的に取り組むことができる。【主体的に学びに向かう力】 ・「売り手」「買い手」の立場を理解して、人と応対することができる。【思考力・判断力・表現力】 ・必要な品物を選んだり、自分の欲しいものを選んだりすることができる。【思考力・判断力・表現力】 ・金銭の見分け方や数え方を理解し、簡単な買い物ができる。【知識及び技能】	・スクール ライフノート

ふりかえろう	8	⑧買い物をして楽しかったことを絵や文に表す。	・活動を振り返り、頑張ったことを発表したり、スクールライフノートに入力したりできる。【主体的に学びに向かう力】	・SKY MENU ・スクールライフノート
--------	---	------------------------	---	--------------------------

9. 本時の学習（7/8）

（1）本時の目標

買い物ごっこをし、買い物の仕方を身に付けることができる。

2・3年生 必要な物を見つけて、買い物をする。

4年生 必要な物を選んで、買い物をする。

（2）本時の展開

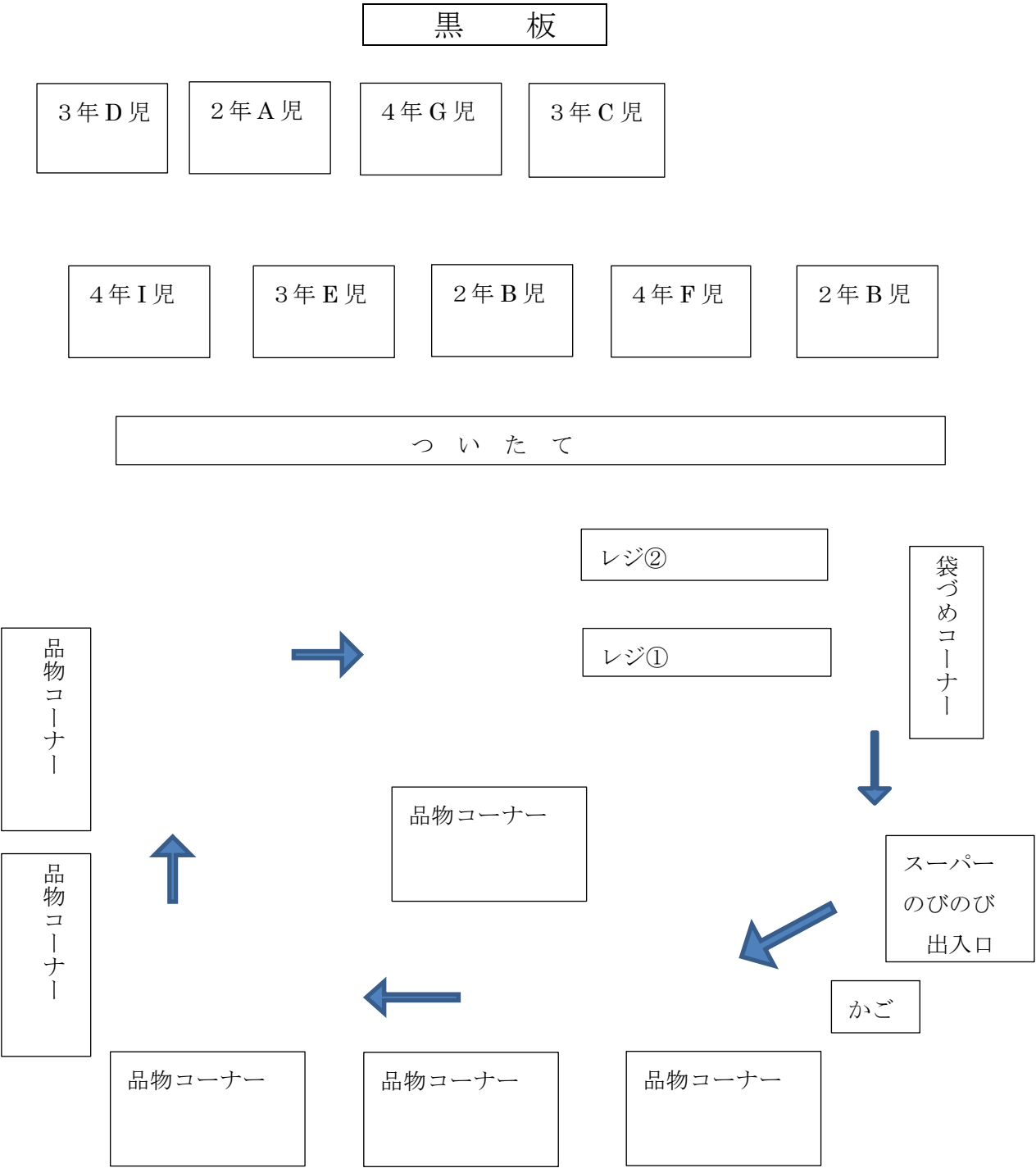
学習活動	指導上の留意点	評価基準等
1. 始めのあいさつをする。 ・授業の始まりがわかる。 2. 本時のめあてを確認する。 ・めあてを読む。	・全体のめあてと個人のめあてを確認し、見通しを持つことができるようにする。	・活動に取り組もうとする意欲が見られる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>みんな かいものごっこをしよう。</p> <p>2・3年生 ひつようなものを見つけて、かいものをしよう。</p> <p>4年生 ひつような物をえらんで、かいものをしよう。</p> </div>		
3. 本時の活動を確認する。 4. ビデオを見て買い物の仕方を確認する。 5. 今日のポイントを確認する。 ・4年生は買い物カードの中から1枚選ぶ。 ・2、3年生はおつかいカードの中から1枚選ぶ。	・活動の順序を黒板に掲示し、することをはっきりと明示する。 ・悪い時といい時の2種類を見て、どのように買い物ごっこをすればよいかを気づくことができるようにする。 ・4年生はカードに書かれたメニューの材料を自分で考えて買い物をする。材料がわからない時は、ヒントカードを見るように伝える。 ・2、3年生はカードに書かれた品物を見つけて買い物をするように伝える。	・買い物の大体の手順が分かる。
6. 買い物ごっこをする。 ○お客さん 材料を考えたり、見つけたりして買い物をする。	・1回目はカードを使って買い物をすることができる。 ・2回目は1000円の予算内に買い物ができるようにする。	・自分の欲しい品物を選び、値段に見合うお金を支払うことができる。

<p>(セリフ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんにちは ・これください。 ・いくらですか。 ・〇〇はどこにありますか。 <p>○レジ係</p> <p>(セリフ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いらっしゃいませ ・〇〇円です。 ・〇〇円お預かりします。 ・おつりは〇〇円です。 ・ありがとうございました。 <ul style="list-style-type: none"> ・お客とレジ係を交代する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の言葉を掲示し、関わりながら活動できるようにする。 ・正しくお金を払うことと、あいさつの言葉をはっきり言うことに気をつけるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・レジ係の言葉を掲示し、関わりながら活動できるようにする。 ・おつりの計算ができるように、計算機を使うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物をするときや、売る時に必要な言葉を進んで言うことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・お店屋さんやお客様の役割を楽しみながら、買い物をすることができる。
<p>7. 本時の学習を振り返る。</p> <p>8. 終わりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物をして、できるようになったことや感想を発表するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく買い物ごっこをすることにより、買い物への興味関心をもつことができる。

(3) 板書計画

スーパーのびのびでかいものをしよう。		
めあて	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 2.3年生 ひつようなものを見つけてかいものしよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 4年生 ひつような物をえらんでかいものしよう。 </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 今日のかつどう </div> <ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ 2. めあて 3. 今日のポイント 4. かいものごっこ 5. ふりかえり 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> (お客) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ こんにちは ・ これください。 ・ いくらですか。 ・ ありがとうございました。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> (レジ係) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ いらっしゃいませ ・ わかりました ・ 〇〇円です。 ・ 〇〇円お預かりします。 ・ おつりは、〇〇円です。 ・ ありがとうございました。

教室配置図



特別支援学級指導案

指導者 山田 有佳
 榮 隆弘
 井上 桃子
 奥田 剛士

1. 日 時 令和4年12月2日（金）第5校時（13：50～14：35）
2. 学年・組 のびのび学級 1組・2組・3組・4組 計10名
 （1年生6名、4年生4名）
3. 場 所 多目的室（新館5階）
4. 单元名 買い物学習（「買い物ごっこ」をしよう）
5. 单元目標
 - ・ 買い物の手順を理解して、金銭を用いてお店で買い物をするができる。（知識及び技能）
 - ・ 店員と買い物に必要なやり取りをすることができる。（思考力、判断力、表現力）
 - ・ 買い物を通して、人と関わることのよさに気づき、手順に沿って、自分なりの方法で買い物をしようとする。（学びに向かう力、人間性等）
6. 单元間の関連

生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単な買い物をして、金銭の取り扱いに慣れる。 ・ 身近な人と自分との関りが分かり、簡単な対応などをする。 ・ 家庭や社会の様子に興味や関心を深めその働きをする。
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話の内容を聞き取る。 ・ 自分の考えを話す。 ・ 質問の応じた返答をする。 ・ 文字を正しく読む。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・ お金の種類や数え方を理解する。 ・ 数字を正しく読む。 ・ たし算の意味が分かる。 ・ 代金を計算し、お金のやり取りをすることができる。（計算機可）
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道具を正しく使う。 ・ 手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、工夫して創造的につくったりすることができる。 ・ 進んで活動に取り組み、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉をはっきり話せるようになる。 6-（2） ・ 場に応じた言葉づかいができるようになる。 6-（3） ・ 自分の考えを相手に伝える。 ・ コミュニケーションを高める。 ・ 店内でのマナーを理解する。

特別支援学校学習指導要領「生活」の目標「日常生活の基本的な習慣を身に付け、集団への参加に必要な態度や技能を養うとともに、自分と身近な社会や自然との関りについての関心を深め、自立的な生活をするための基礎的能力と態度を育てる。」に基づき、その内容の「9. 金銭」について各児童の実態に合う段階に応じて構成する。

本単元で扱う「買い物」はお金を商店に支払うことによって、欲しい品物を手に入れる行為である。金銭のやり取りには、お金に対する認識が必要である。それはお金を見てお金と分かることであり、お金の単位とその価値を理解し、金額に合うように硬貨や紙幣を数えられる力である。これらができて初めて自立した買い物ができることになる。

社会的自立に向けて、自分でお金を持って買い物に行く経験をするのが大切であると考え、発達段階に合わせた買い物の類似活動をさせたい。日常生活との関りを持たせるために、レジ係になって品物を売ったり、お客さんになって買い物をしたりする活動を取り入れる。お金と引き換えに品物をもらうやり取りは児童の関心を持ちやすく、日常生活につなげることができ自立的な生活をするための基礎的な力であるとする。教科・領域を合わせた生活単元で主体的な活動を展開していくことで、金銭の取り扱いに慣れお金の価値や意味を次第に分かり、社会への適応の自信に繋がると考える。また、買い物を通した活動の中で言語活動を充実させながら、あいさつや受け答えなどコミュニケーションの仕方や、はっきりとした話し方、場に応じた言葉づかいなどを学ばせたい。

(児童の実態について)

現在、のびのび学級に在籍する児童は24名おり、そのうち15名(1年生2名、3年生2名、4年生4名、5年生2名、6年生5名)が抽出して個別の指導(学習)をしている。在籍児童は学年や発達段階が異なるため、個別の支援計画・指導計画をもとに一人一人課題を設定し、学級やのびのび学級で学習をしている。また、月1～2回ののびのびタイムを設け、異学年で集まって制作やゲームなど意欲的に活動し、交流を図っている。

本時では、1・4年生の10名の児童を対象に学習計画を作成した。児童の課題は次のとおりである。

学 年	買い物に関する児童の実態	つけたい力(本時の個別目標)
1年A児 (I.T)	<ul style="list-style-type: none"> 一人で買い物をしたことがない。 デイサービスの買い物支援で買い物をしたことはある。 	<ul style="list-style-type: none"> お店での買い物のやり取りを通して、コミュニケーション力を高める。 丁寧な言葉づかいをする。
1年B児 (I.S) 1A	<ul style="list-style-type: none"> 一人で買い物をしたことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> お店での買い物のやり取りを通して、コミュニケーション力を高める。
1年C児 (S.R)	<ul style="list-style-type: none"> 一人で買い物をしたことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> お店での買い物のやり取りを通して、コミュニケーション力を高める。 進んで活動に取り組み、言葉をはっきり話せるようになる。
1年D児 (O.T)	<ul style="list-style-type: none"> 一人で買い物をしたことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> お店での買い物のやり取りを通して、コミュニケーション力を高める。 進んで活動に取り組み、言葉をはっきり

		話せるようになる。
1 年 F 児 (H. T)	・一人で買い物をしたことがない。	・お店での買い物のやり取りを通して、コミュニケーション力を高める。 ・目的に応じた会話をする。
4 年 G 児 (T. RN)	・一人で買い物をしたことがない。	・自分で代金やおつりの計算ができる。 ・お店での買い物のやり取りを通して、コミュニケーション力を高める。 ・品物を取捨選択し必要な物を買う。
4 年 H 児 (H. Y)	・一人で買い物をしたことがない。	・合計金額を計算できるようになる。 ・金銭の受け渡しができるようになる。
4 年 I 児 (T. RO)	・一人で買い物をしたことがない。	・合計金額を計算できるようになる。 ・品物を取捨選択し必要な物を買う。
4 年 J 児 (M. M)	・買い物の経験がある。	・合計金額を計算できるようになる。 ・金銭の受け渡しができるようになる。

6. 評価基準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学びに向かう力
<ul style="list-style-type: none"> ・金銭の見分け方や数え方を理解することができる。 ・たし算やひき算を計算することができる。(計算機可) ・売り手と買い手の立場で、正しい言葉づかいができる。 ・金銭の見分け方や数え方を理解し、簡単な買い物ができる。 ・買う物の値段を調べることができる。 ・買い物の仕方が分かる。 ・お金の払い方ができる。 ・買いたい物の合計金額を計算し、お金を出したりおつりを渡したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な品物を選んだり、自分の欲しいものを選んだりすることができる。 ・「売り手」「買い手」の立場を理解して、人と応対することができる。 ・作りたい物について考え、調べることができる。 ・活動を振り返ることができる。 ・友達の良かったことや、頑張っていたことを伝えることができる。 ・自分の頑張りを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物ごっこに参加しようとする。 ・買い物ごっこに関心を持ち、買い物の楽しさを味わいながら、活動に意欲的に取り組むことができる。 ・友達と協力して活動することができる。 ・ごっこ遊びに関心を持ち、進んで品物を集めたり作ったりすることができる。

	情報活用スキル	S	A	B	C	実際の活動例
収 集	インターネット で調べる	引用するサイトの信頼性 を見極めるとともに、他 のサイトの情報と比較し て判断することができる。	引用するサイトの出所元 を意識し、その信頼性を見 極めることができる。	キーワードを入れて検索 結果から必要な情報を選 択することができる。	ブラウザを起動して検索 したい情報のキーワード を入力できる。	スーパーの工夫を、イン ターネットで調べる。品 物の陳列の様子。レジの 配置、商品のPRなどに気 付かせる。
	写真を撮る	撮影の目的・条件設定を 念頭に置いて撮影し、撮 影した写真を確認。管理 できる。	撮影する写真の用途を意 識し、肖像権や撮影禁止 場所等に配慮しながら撮 影できる。	対象物との距離、アング ル、明るさ等意識して 撮影できる。	安全や故障（落下・水没 等）に気をつけて、写真 を撮ることができる。	スーパーの中の写真を撮 る。陳列の仕方、場所、 のぼり、チラシなど
整 理 ・ 分 析	分類整理する。	アドバイスなしに、集め た情報を根拠を明確に し、項目ごとに分けて整 理することができる。	アドバイスを受けながら 情報を内容ごとに仲間分 けして可視化することが できる。	気付いたことを発表す ることができる。		写真から、スーパーの工 夫、お店づくりのために 何が必要なのかを見つけ る。
編 集	タイピング	ローマ字入力で文章が入 力できる。（変換表を見 ないで）	ローマ字変換表をみなが ら、ローマ字入力で文章 が入力できる。	支援なしで簡単操作で文 章を入力できる。	支援を受けながら指書き 又は簡単操作で文章を入 力することができる。	授業の感想を入力する。
	ワープロソフト 基本操作	必要に応じて、縦書き・ 横書き、テンプレートな どを選んで活用できる。	中央揃え、右寄せ、タブ などを用いて文書を整頓 して作成できる。	文字の大きさ、文字種・ 色の変更・ルビ、改行、 削除・挿入等ができる。	文章を入力していくこと ができる。	授業の感想を入力する。 お店が看板、のぼり、チ ラシなどを製作する。
表 現 ・ 発 信	発表する	伝える相手を意識して、 相手の反応をみながら発 表することができる。	相手の方を見て、気付い たことを簡潔に伝えるこ とができる。	支援を受けながら、気付 いたことを簡潔に伝える ことができる。	支援を受けながら、気付 いたこと・よかったこと を短く発表することがで きる。	本時の撮影したビデオを 見て、（お店屋さん体 験）気付いたことを発表 する。

7. 指導にあたって

本単元では、金種とお金の価値や商店の役割と内容や買い物の仕組みなどを、お金の学習やごっこ遊びなどを通して理解する活動である。4年生は生活経験（買い物）ライフスキルが弱いことや、お金の使い方（おごり・おごられ）やお金の重要性を知ることが重要である。

第一次では、お金の種類（硬貨）を知り、模型の硬貨を使って種類ごとに並べ、両替ができるようにする。そして、お金の模型を使って、たし算やひき算ができるようにする。その際に計算機を使ってもいいことにし、計算をすることに時間を取らず計算した答えの金額を並べることができるようにする。両替をするときには、等価関係ヒントカードを提示し、「1円玉が5枚で5円」や「10円玉が5枚で50円」になるという等価関係を視覚的に理解しやすくする。また、お金の計算をするときには、もらったお金、値段、おつりを位に分けて記録できるワークシートと位ごとに分けてお金を出すことができるキャシュトレイを用意し、位に注意しながら計算ができるようにする。そして、買い物をするときにはお店屋さん側とお客さん側でどんな言葉が必要かを考えさせる。買い物に行った時のことを思い出させるようにする。難しいようであれば指導者がお店屋さんとお客さんに分かれてサイレントで買い物の仕方を実演するとイメージが湧きやすいようにする。

第2次では、「スーパーたきがわ」を作ることを知らせ、スーパーに並んでいる品物を考えさせ品物を作っていくようにし、品物を作る時には、はさみ等の道具の使い方に気を付けるようにする。値札やチラシ、お客さんにかかる言葉なども考え店側は品物を売りたい、買ってほしいという気持ちを高めることができるように

する。お客さん側は、店員さんにかかる言葉を考えるようにする。（これください。いくらですか。など）気持ちよく買い物ができるようにするために必要なことを出させるようにする。活動の興味が持続するようにチラシや自分が食べたお菓子や食品の袋や箱を集めたり、ごっこ遊びやおつかいや買い物ができる環境を整えておく。そして、教師が見本となる行動を実際にやって見せたり、写真やビデオを使って説明したりする工夫をするようにする。また、グループを分けて買い物のロールプレイング練習を行う。練習をすることで買い物の流れを身に着けるようにする。

本時では、自分で買いたいものを選んで、値札から値段を読み取りお金を出して品物を買うようにする。計算が苦手な児童には計算機を使っていいことを伝える。お店役になったときには、「いらっしゃいませ」、「お支払いはカードですか？現金ですか？」「〇〇円になります」、「おつりは〇〇円です」などのようにコミュニケーションをとることができるように、レジの横に貼って見ることができるようにする。お客さん役になったときには、「これください」、「いくらですか」、「ありがとうございます」などのコミュニケーションをとることができるようにしたい。店員さんとお客さん役を途中で交代をし、両方を体験できるようにする。

第3次では、買い物学習をやったの感想や、実際に買い物をして感じたことを絵や文で書くようにする。

（1年生 ふりかえり）

12/2 かいものごっこ ふりかえり

おきゃくさんになってかいものをするとき、おみせのひとへきもちのいいあいさつができましたか。

☐ よくできた

☐ できた

☐ すこしできなかった

☐ できなかった

おみせやさんになったとき、おきゃくさんにきもちのいいあいさつができましたか。

☐ よくできた

☐ できた

☐ すこしできなかった

☐ できなかった

ともだちのよいところや、がんばっているところをみつけることができましたか。

☐ よくできた

☐ できた

☐ すこしできなかった

☐ できなかった

送信

フォームをクリア

（4年生 ふりかえり）

12/2 買い物ごっこ ふりかえり

買いたいものの合計金額を計算することができましたか。

☐ よくできた

☐ できた

☐ すこしできなかった

☐ できなかった

お金をわたしたり、おつりをわたしたりすることができましたか。

☐ よくできた

☐ できた

☐ すこしできなかった

☐ できなかった

友だちのよいところや、がんばっているところを見つけることができましたか

☐ よくできた

☐ できた

☐ すこしできなかった

☐ できなかった

送信

フォームをク

8. 学習計画 (全8時間)

	時	主な学習活動	評価基準	ICT 活用 情報活用スキル※
お金とあいさつの学習	1 ・ 2 ・ 3	お金の学習をする。 計算を学習する。 (たし算・ひき算) ②どんな言葉のやり取りがあるか考える。 ③支払いのやり取り、おつりの学習をする。	・金銭の見分け方や数え方を理解し、簡単な買い物ができる。【知識及び技能】 ・買い物に関心を持ち、活動に意欲的に取り組むことができる。【主体的に学びに向かう力】	・SKY MENU ・スクール ライフノート
お店の準備と買い物をしよう	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 本時	④買い物ごっこの計画を立てる。 品物を作る。 ⑤模擬店を作る。 ⑥役割で準備し、買い物ごっこをする。 ⑦買い物ごっこをする。	・買い物に関心を持ち、買い物の楽しさを味わいながら、活動に意欲的に取り組むことができる。【主体的に学びに向かう力】 ・「売り手」「買い手」の立場を理解して、人と応対することができる。【思考力・判断力・表現力】 ・必要な品物を選んだり、自分の欲しいものを選んだりすることができる。【思考力・判断力・表現力】 ・金銭の見分け方や数え方を理解し、簡単な買い物ができる。【知識及び技能】	・スクール ライフノート
ふりかえろう	8	⑧買い物をして楽しかったことを絵や文に表す。	・活動を振り返り、頑張ったことを発表したり、スクールライフノートに入力したりできる。【主体的に学びに向かう力】	・SKY MENU ・スクール ライフノート

9. 本時の学習（7/8）

（1）本時の目標

買い物ごっこをし、買い物の仕方を身に付けることができる。

1年生 お店役、お客役に必要なあいさつができる。

4年生 ・決められた品物を選び、必要な金額を用意して買い物することができる。

・お店役とお客役に分かれ、買い物のやり取りをすることができる。

（2）本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価基準等
1. 始めのあいさつをする。 ・授業の始まりがわかる。 2. 本時のめあてを確認する。 ・めあてを読む。	・全体のめあてと個人のめあてを確認し、見通しを持つことができるようにする。	・活動に取り組もうとする意欲が見られる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>みんな かいものごっこをしよう。</p> <p>1年生 おきゃくさん・おみせやさんできもちのいいあいさつをしよう。</p> <p>4年生 買い物にひつようなお金の計算をしよう。</p> </div>		
3. 本時の活動を確認する。 4. 今日のポイントを確認する。 ・1、4年生はおつかいカードの中から1枚選ぶ。	・活動の順序を黒板に掲示し、することを明示する。 ・あいさつのセリフを復唱する。 ・買い物の流れを確認する。 ・1、4年生はカードに書かれた品物を見つけて買い物をするように伝える。	・買い物の大体の手順が分かる。
5. 買い物ごっこをする。 ○お客さん 品物を見つけて買い物をする。 (セリフ) ・こんにちは ・これください。	・1回目はおつかいカードを使って買い物をする。(500円) ・2回目は1、4年生がペアになり1000円の予算内に買い物ができるようにする。(選ぶ品数は3～4個) ・お客さんの言葉を掲示し、関わりなが	・品物を選び、値段に見合うお金を支払うことができる。 ・買い物をするときや、売る

<ul style="list-style-type: none"> ・いくらですか。 ・ありがとうございました。 <p>○レジ係 (セリフ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いらっしゃいませ ・カードですか、現金ですか。 ・〇〇円です。 ・〇〇円お預かりします。 ・おつりは〇〇円です。 ・ありがとうございました。 ・またおこしてください。 <p>・お客とレジ係を交代する。</p>	<p>ら活動できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年生は正しくお金を払うこと、1年生はあいさつの言葉をはっきり言うことに気をつけるようにする。 <p>・レジ係の言葉を掲示し、関わりながら活動できるようにする。</p> <p>・合計金額やおつりの計算ができるように、タブレットの計算機能を使うようにする。</p>	<p>時に必要な言葉を進んで言うことができる。</p> <p>・進んであいさつができる。</p> <p>・計算機能を使って計算をし、お金の受け渡しができる。</p> <p>・お店屋さんやお客さんの役割を楽しみながら、買い物をするができる。</p>
<p>6. 本時の学習を振り返る。</p> <p>7. 終わりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物をして、できるようになったことや感想を発表するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく買い物ごっこをすることにより、買い物への興味関心をもつことができる。

(3) 板書計画

スーパーのびのびでかいものをしよう。

めあて

かいものごっこをしよう

たのしく

なかよく

1年生 おきやくさん・おみせやさんできもちのいいあいさつをしよう。

4年生 買い物にひつようなお金の計算をしよう。

今日のかつどう

1. あいさつ
2. めあて
3. 今日のポイント
4. かいものごっこ
5. ふりかえり

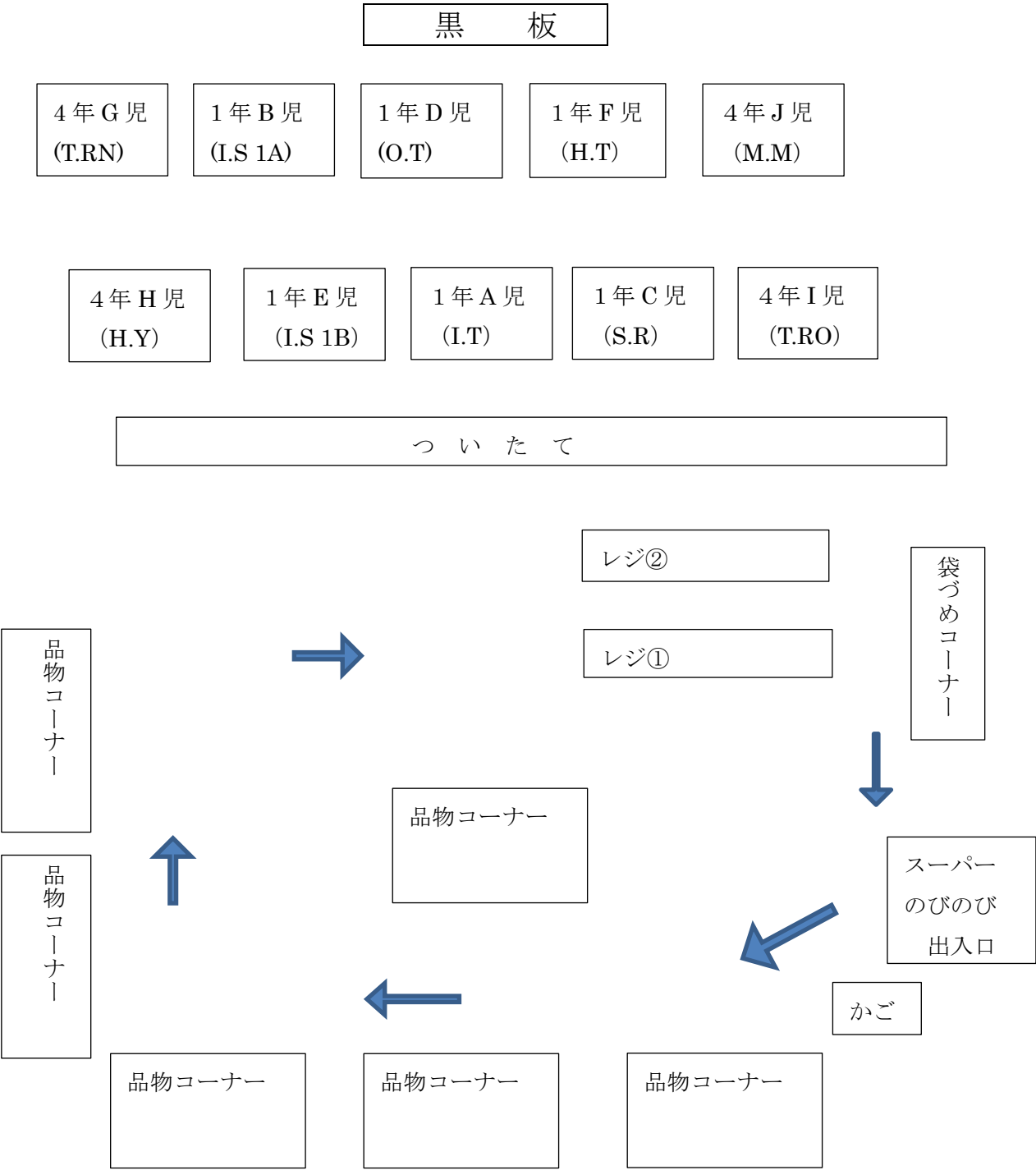
(お客)

- ・こんにちは。
- ・これください。
- ・おねがいします。
- ・ありがとうございました。

(レジ係)

- ・いらっしゃいませ。
- ・わかりました。
- ・〇〇円です。
- ・げん金ですか。カードですか。
- ・〇〇円お預かりします。
- ・おつりは、〇〇円です。
- ・ありがとうございました。
- ・またおこしてください。

教室配置図



特別支援学級指導案

指導者 柴 隆弘 奥田 剛士
西口 和磨 森本 小太郎

1. 日 時 令和6年1月25日(木) 第5校時(13:50～14:35)
2. 学年・組 のびのび学級 1組・2組・3組・4組 計22名
(1年生4名、2年生7名、4年生5名、5年生3名、6年生3名)
3. 場 所 多目的室(新館5階)
4. 単元名 買い物学習(「買い物ごっこ」をしよう)
5. 単元目標
 - ・ 買い物の手順を理解して、金銭を用いてお店で買い物をすることができる。(知識及び技能)
 - ・ 店員と買い物に必要なやり取りをすることができる。(思考力、判断力、表現力)
 - ・ 買い物を通して、人と関わることのよさに気づき、手順に沿って、自分なりの方法で買い物をしようとする。(学びに向かう力、人間性等)
6. 単元間の関連

本単元は、児童にとって身近な活動である買い物について学習するにあたり、特別支援学校小学部学習指導要領の生活、算数、国語、図工、自立活動の以下の内容を受けて設定している。

<p>生活</p>	<p>ク 金銭の扱い</p> <p>金銭の価値に気付くことや金銭を扱うことなどに関わる学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>(ア) 身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くこと。 88702b4281000000</p> <p>(イ) 金銭の扱い方などを知ること。 88702b4282000000</p> <p>オ 人との関わり</p> <p>身近なことを教師や友達と話すことなどに関わる学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。(知識及び技能)</p> <p>(ア) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な応対などをしようとする事。 88702c4251000000</p> <p>(イ) 身近な人との簡単な応対などをするための知識や技能を身に付けること。 88702c4252000000</p>
<p>国語</p>	<p>ア 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(イ) 日常生活でよく使われている平仮名を読むこと。(知識及び技能) 88102b4211200000</p> <p>A 聞くこと・話すこと(思考・判断・表現)</p> <p>イ 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。 88102b4221200000</p>

算数	<p>イ 同等と多少に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。(知識及び技能)</p> <p>㊦ ものともとの対応させることによって、ものの同等や多少が分かること。</p> <p style="text-align: right;">88502b4242110000</p> <p>(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>㊦ 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすこと。88502b4211210000</p> <p style="text-align: right;">(思考・判断・表現)</p>
図工	<p>ア 身近な出来事や思ったことを基に絵をかく、粘土で形をつくるなどの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。(知識及び技能)</p> <p>(ア) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。</p> <p style="text-align: right;">88902b4211100000</p> <p>(イ) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすること。</p> <p style="text-align: right;">88902b4211200000</p>
自立活動	<p>3 人間関係の形成</p> <p>(1) 他者とのかかわりの基礎に関すること。8600400310000000</p> <p>(4) 集団への参加の基礎に関すること。8600400340000000</p> <p>6 コミュニケーション</p> <p>(2) 言語の受容と表出に関すること。8600400620000000</p> <p>(3) 言語の形成と活用に関すること。8600400630000000</p> <p>(5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。8600400650000000</p>

特別支援学校学習指導要領「生活」の目標「日常生活の基本的な習慣を身に付け、集団への参加に必要な態度や技能を養うとともに、自分と身近な社会や自然との関りについての関心を深め、自立的な生活をするための基礎的能力と態度を育てる。」に基づき、その内容の「9. 金銭」について各児童の実態に合う段階に応じて構成する。

本単元で扱う「買い物」はお金を商店に支払うことによって、欲しい品物を手に入れる行為である。金銭のやり取りには、お金に対する認識が必要である。それはお金を見てお金と分かることであり、お金の単位とその価値を理解し、金額に合うように硬貨や紙幣を数えられる力である。これらができて初めて自立した買い物ができることになる。

社会的自立に向けて、自分でお金を持って買い物に行く経験をするのが大切であると考え、発達段階に合わせた買い物の類似活動をさせたい。日常生活との関りを持たせるために、レジ係になって品物を売ったり、お客さんになって買い物をしたりする活動を取り入れる。お金と引き換えに品物をもらうやり取りは児童の関心を持ちやすく、日常生活につなげることができ自立的な生活をするための基礎的な力であるとする。教科・領域を合わせた生活単元で主体的な活動を展開していくことで、金銭の取り扱いに慣れお金の価値や意味を次第に分かり、社会への適応の自信に繋がると考える。また、買い物を通した活動

の中で言語活動を充実させながら、あいさつや受け答えなどコミュニケーションの仕方や、はっきりとした話し方、場に応じた言葉づかいなどを学ばせたい。

(児童の実態について)

現在、のびのび学級に在籍する児童は、抽出して個別の指導（学習）をしている者、週1回の自立活動（のびのびタイム）に参加している者などがいる。在籍児童は学年や発達段階が異なるため、個別の支援計画・指導計画をもとに一人一人課題を設定し、学級やのびのび学級で学習をしている。また、のびのびタイムを設け、異学年で集まって制作やゲームなど意欲的に活動し、交流を図っている。

本時では、のびのびタイムに参加している全学年（3年生は在籍児童なし）22名の児童を対象に学習計画を作成した。

金銭に関する実態としては、買い物経験がある児童が11名、経験がない児童が11名である。どんな種類のお金があるのかは認識しているが、指定された金額を種類の異なる硬貨を組み合わせて用意することや、提示された金額の硬貨の組み合わせを複数用意することなどが課題である。また、お店と人とのやり取り、あいさつなどが苦手の児童がおり、コミュニケーション力をつけていくことも課題である。

学 年	児童の実態及び 買い物に関する児童の実態	本単元でつきたい力
1年A児 (U. A)	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で買い物をしたことはある。 ・必要でないものを買う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お店での買い物のやり取りを通して、コミュニケーション力を高める。 ・丁寧な言葉づかいをする。
1年B児 (O. Y)	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で買い物をしたことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お店での買い物のやり取りを通して、買い物の仕方がわかり、お使いができるようになる。
1年C児 (S. S)	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で買い物をしたことがない。 ・スーパーには行ったことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで活動に取り組み、買い物のやり取りを楽しむことができる。
1年D児 (H. K)	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で買い物をしたことがない。 ・お小遣いをもらおうとすぐに使ってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お店での買い物のやり取りを通して、コミュニケーション力を高める。 ・進んで活動に取り組み、言葉をはっきり話せるようになる。
1年F児 (Y, K)	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で買い物をしたことはある。 ・100円ローソンに行き、お願したものは店員さんに聞くなどして買ってくる。110円以上になると、悩み、お金を取りに戻ったりすることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お店での買い物のやり取りを通して、コミュニケーション力を高める。 ・目的に応じた会話をする。 ・小銭を上手に使えるようにする。
2年 H 児 IS・S	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に取り組むまでの時間がかかる。 ・言葉遣いが荒くなることがある。 ・伝えたいことがあっても、うまく伝えられない時がある(重要なことを忘れた 	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを切り替えて学習に取り組む力。 ・ものごとを適切に伝える力(言葉遣い・順序・重要事項など)。 ・自分で準備をする習慣。

	<ul style="list-style-type: none"> り、伝え忘れたりすることがある)。 ・一人で買い物をしたことがない。 	
2年 I 児 IT・S	<ul style="list-style-type: none"> ・周りに流されてしまう。 ・会話のタイミングに関係なく話してしまう。 ・一人で買い物はほとんどない。 ・レジに並んでいるときに、無意識に前の人に近づきすぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やることや状況を理解した上で、周りも見える力。 ・周りの人に迷惑にならないように、カートを押したりレジ待ちをしたりしてほしい。
2年 J 児 S・R	<ul style="list-style-type: none"> ・パニックになると課題に取り組めなくなる。 ・人とかかわり方に課題がある。 ・周りを見ているものの、名前を覚えたり、自分から話しかけたりすることが苦手。 ・完璧主義なところがある(周りから遅れたくない)。 ・付き添いありでお金のやり取りをしたことはあるが、一人で行き買い物をしたことはない 	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて一つずつ課題に取り組む力。 ・自分から助けを求める力。 ・クラスメイトへの興味を深め、行動に移す力(まずは人の名前を言うことから)。 ・自分のゴールを見つける(理解する)力。 ・わからない時に店員さんに尋ねたり、声をかけられたりできるようになってほしい。 ・コミュニケーションができるようになってほしい。
2年 K 児 O・T	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が1番という考え方をしている。 ・時と場合によるが吃音が出るときがある。日常会話の時は比較的少ない。 ・考えながら話すことが難しい。 ・一人で買い物はほとんどしたことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周りを許容し協力すること。 ・相手の気持ちを考える力。 ・場面を考えて話す力。 ・自分の考えを伝える力 ・お金の足し算、引き算の理解。 ・「ありがとう」が言えるようになってほしい。
2年 L 児 H・T	<ul style="list-style-type: none"> ・融通が利かないときがある。 ・自信がない。 ・人との距離感が取りづらい。 ・人が大勢いると助けを求められない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・困りごとへの対応力。 ・自信。間違いや失敗を恐れない。 ・自分で手順を考えて学習に取り組む力。
2年 M 児 M・R	<ul style="list-style-type: none"> ・物の管理が難しい。 ・集中力のムラがある。 ・マイペース。 ・先のことを想像することが苦手。 ・人の前で発表することが苦手。 ・好きなものをすぐにかごに入れてくる。 ・おもちゃ購入はおこづかい制だが、あまりお金が減っていることを気にしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集中力の持続性。 ・見通しをもって学習に取り組む力。 ・お金の種類を把握してほしい。
2年 N 児	<ul style="list-style-type: none"> ・集団で行動することが苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ目標に向かって、周囲と協力して取

I・T	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話を聞くことが苦手。 自分の話したいことを話してしまう。 療育でスタッフ付き添いでお店の人とやり取りをしたり、お金の支払いをしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> り組む力。 自分が興味のあること以外にも、見通しをもって取り組む力。 1 円玉などの端数のお金を使った支払いができるようになってほしい
4年0児 I・H	<ul style="list-style-type: none"> 友達とのコミュニケーション能力…友達との距離が近い、融通が利きづらく我を押し通そうとしてしまう。 状況の変化が苦手…予定されている行事がなくなったり、楽しいことをやめなくてはなくなったりしたら、気持ちが落ち込む。 一人で買い物をしたことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 人と適切な距離感で接し、相手の気持ちに寄り添った行動や言葉遣いができるようになる 状況が変化したときに、自分の気持ちをコントロールし、困ったことがあった時には、誰かに助けを求めることができるようになる。 合計金額を計算できるようになる。
4年P児 T・N	<ul style="list-style-type: none"> 友達とのコミュニケーション能力…相手の気持ちを考えることが苦手、関わりたいがゆえに適切ではない言動をしてしまう。 正しい言葉づかいをすることが難しい 普段の言葉づかいで敬語を使うことが難しい 気になるものがあると人のものでも勝手に触ってしまう 一人で買い物をしたことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の気持ちを考えて行動できるようになる。 敬語や正しい言葉づかえできるようになる。 気になることがあっても、自分の気持ちをコントロールして、適切な行動ができるようになる。 お金の貸し借りはしない、あげたりもらったりしないなどのお金のマナーを身に着けるとともに、お店の人とのやり取り、グループでのやり取りを通してコミュニケーション力を高める。
4年Q児 A・S	<ul style="list-style-type: none"> 疲れたり、うまくいかないことがあったりすると言動が荒くなってしまうことがある。 最近は衝動性が強く、やらなければいけないことが分かっている、やりたいことを優先してしまうことがある。 一人で買い物をしたことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> どのような状況であっても言動が荒くならないように自分で気持ちや行動をコントロールできるようになる。 正しい言葉づかいができるようになる。 自分がやりたいこととやらなければいけないことの優先順位を考えて行動できるようになる。 自分で代金やおつりの計算ができる。 お店での買い物のやり取りを通して、コミュニケーション力を高める。 品物を取捨選択し必要な物を買う。
4年R児 H・G	<ul style="list-style-type: none"> 自由作文や自由課題などの自分で何かを考えて行動することが苦手 自信がなく、答えがわかっているか不安なため書くことができない 	<ul style="list-style-type: none"> 自分に自信をもって行動ができるようになる。 困っているときに誰に対しても助けを求めることができるようになる。

	<ul style="list-style-type: none"> い。 ・困っているときに助けを求めることが苦手。 ・一人で買い物をしたことがない 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で代金やおつりの計算ができる。 ・お店での買い物のやり取りを通して、コミュニケーション力を高める。
4年S児 Y・S	<ul style="list-style-type: none"> ・気に入ったものがあると、人のものだったとしても自分のものにしようとする。 ・人にものを渡すときに投げて渡すことがある。 ・自分が1番という考え方が強く、ほかの人と協力することが難しい。 ・一人で買い物をしたことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人のものと自分のものの区別をつけて人のものを取らないようにする。 ・穏やかにいろいろな人と接することができるようになる。 ・きちんと物の受け渡しができるようになる。 ・自分以外の人のこととも考えることができるようになり、協力して行動できるようになる。 ・楽しんで買い物学習に取り組むことができる。 ・グループの中で、教えられたり教えたりする経験を積んで、楽しんで買い物学習に参加する。
5年T児 H・Y	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみや生活面に関して俯瞰的にとらえることが難しい。 ・四則計算の定着がまだできていない ・周りの様子を見ることができていない ・一人で買い物をしたことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみを整える。 ・生活リズムを作る。(朝のルーティン) ・一桁同士のたし算、ひき算、掛け算の暗唱。 ・相手の状況を考えて、かかわり方を考えることができる。 ・合計金額を計算できるようになる。 ・金銭の受け渡しができるようになる。
5年U児 T・RO	<ul style="list-style-type: none"> ・自信がない。 ・みんなと一緒にじゃないと嫌だと感じる。 ・プライドが高いがそれに力が追いついていない。 ・集中力に難がある。 ・気持ちの切り替えが遅い。 ・自動販売機では、持っている小銭をすべて入れてから飲み物を購入している。 ・一人で買い物をしたことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できることを見つけることができる。 ・自分でやることを決めて最後まで取り組むことができる。 ・感情が高ぶった時にクールダウンを行うことができる。 ・合計金額を計算できるようになる。 ・品物を取捨選択し必要な物を買う。
5年V児 T・RN	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な問題に取り組むときや自分の思い通りにならないと癪癪をおこす。 ・気持ちの切り替えに時間がかかる。 ・一人で買い物をしたことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な課題に対してもあきらめずに取り組むことができる。 ・感情が高ぶった時にクールダウンを行うことができる。 ・自分で代金やおつりの計算ができる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・お店での買い物のやり取りを通して、コミュニケーション力を高める。 ・品物を取捨選択し必要な物を買う。
6年W児 Y・Y	<ul style="list-style-type: none"> ・周りと同じように活動することが難しい。 ・妹に思いやりをもって接することが難しい。 ・買い物経験があり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物の仕方がわからないとき、適切なアドバイスができる。お釣りの計算ができ、適切にアドバイスできる。 ・異学年に対してやさしい行動をできるようになってほしい。
6年X児 A・Y	<ul style="list-style-type: none"> ・人の気持ちを考えることが苦手。 ・声が小さく店員さんへの言葉の反応も少ない。 ・買い物経験がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の名前を呼んで一緒に活動ができる。 ・お釣りの計算ができ、適切にアドバイスができる。 ・わからないとき、買い物の仕方をアドバイスができる。 ・店員さんへの返事ができる。
6年Y児 M.A	<ul style="list-style-type: none"> ・めんどくさがりで、最後までていねいにやり遂げることが苦手。買い物でも、ちょうどだせるだけのお金を持っているが、計算が面倒なため札のみをだす。 ・買い物経験があり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物の仕方がわからないとき、適切なアドバイスができる。お釣りの計算ができ、適切にアドバイスできる。 ・必要なものだけを買うようにする。 ・持たせているお金をぎりぎりまで使わない。

6. 評価基準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学びに向かう力
<ul style="list-style-type: none"> ・金銭の見分け方や数え方を理解することができる。 ・たし算やひき算を計算することができる。(計算機可) ・売り手と買い手の立場で、正しい言葉づかいができる。 ・金銭の見分け方や数え方を理解し、簡単な買い物ができる。 ・買う物の値段を調べることができる。 ・買い物の仕方が分かる。 ・お金の払い方ができる。 ・買いたい物の合計金額を計算し、お金を出したりおつりを渡したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な品物を選んだり、自分の欲しいものを選んだりすることができる。 ・「売り手」「買い手」の立場を理解して、人と応対することができる。 ・作りたい物について考え、調べることができる。 ・活動を振り返ることができる。 ・友達の良かったことや、頑張っていたことを伝えることができる。 ・自分の頑張りを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物ごっこに参加しようとする。 ・買い物ごっこに関心を持ち、買い物の楽しさを味わいながら、活動に意欲的に取り組むことができる。 ・友達と協力して活動することができる。 ・ごっこ遊びに関心を持ち、進んで品物を集めたり作ったりすることができる。

	情報活用スキル	S	A	B	C	実際の活動例
収集	インターネットで調べる	引用するサイトの信頼性を見極めるとともに、他のサイトの情報と比較して判断することができる。	引用するサイトの出所元を意識し、その信頼性を見極めることができる。	キーワードを入れて検索結果から必要な情報を選択することができる。	ブラウザを起動して検索したい情報のキーワードを入力できる。	スーパーの工夫を、インターネットで調べる。品物の陳列の様子。レジの配置、商品のPRなどに気付かせる。
	写真を撮る	撮影の目的・条件設定を念頭に置いて撮影し、撮影した写真を確認。管理できる。	撮影する写真の用途を意識し、肖像権や撮影禁止場所等に配慮しながら撮影できる。	対象物との距離、アングル、明るさ等を意識して撮影できる。	安全や故障（落下・水没等）に気をつけて、写真を撮ることができる。	スーパーの中の写真を撮る。陳列の仕方、場所、のぼり、チラシなど
整理・分析	分類整理する。	アドバイスなしに、集めた情報を根拠を明確にし、項目ごとに分けて整理することができる。	アドバイスを受けながら情報を内容ごとに仲間分けして可視化することができる。	気付いたことを発表することができる。		写真から、スーパーの工夫、お店づくりのために何が必要なのかを見つける。
編集	タイピング	ローマ字入力で文章が入力できる。（変換表を見ないで）	ローマ字変換表をみながら、ローマ字入力で文章が入力できる。	支援なしで簡単操作で文章を入力できる。	支援を受けながら指書き又は簡単操作で文章を入力することができる。	授業の感想を入力する。
	ワープロソフト基本操作	必要に応じて、縦書き・横書き、テンプレートなどを選んで活用できる。	中央揃え、右寄せ、タブなどを用いて文書を整頓して作成できる。	文字の大きさ、文字種・色の変更・ルビ、改行、削除・挿入等ができる。	文章を入力していくことができる。	授業の感想を入力する。お店が看板、のぼり、チラシなどを製作する。
表現・発信	発表する	伝える相手を意識して、相手の反応をみながら発表することができる。	相手の方を見て、気付いたことを簡潔に伝えることができる。	支援を受けながら、気付いたことを簡潔に伝えることができる。	支援を受けながら、気付いたこと・よかったことを短く発表することができる。	本時の撮影したビデオを見て、（お店屋さん体験）気付いたことを発表する。

7. 指導にあたって

本単元では、金種とお金の価値や商店の役割と内容や買い物の仕組みなどを、お金の学習やごっこ遊びなどを通して理解する活動である。生活経験（買い物）ライフスキルが弱いことや、お金の使い方（おごり・おごられ）やお金の重要性を知ることが重要である。指導に当たって、「家族に頼まれたものを買に行く」という活動を取り入れることで、自分で買い物ができた達成感と自己有用感を味わえるようにしたい。

学習を進めるにあたって、1年生から6年生までを4つのグループに分ける。それぞれ、異学年が入るようにし、できるだけグループの中で教えあいながらお金の種類やお釣りの計算、払い方などを身につけさせるようにしていく。児童全員が見通しを持ちながら活動に参加できるように、ICT機器を活用し、お金の種類、払い方などを確認したり、グループでの活動が活発になるように発表ノートを使って感想・意見をまとめたりし、活動のイメージ化を図る。

本小単元では、以下の学習過程でICTを活用する。

- 1 【課題の設定】導入時での資料等提示（大型プロジェクター）（Microsoft PowerPoint）
- 2 【情報の収集】調べる段階での児童用端末へ資料配付（Sky Menu Cloud 発表ノート）
- 3 【整理・分析】スーパーの工夫などを、写真からよみとる。（Sky Menu Cloud 発表ノート）

資料からわかった事実と自分の考えを書き分ける。

買い物アプリを使い、合計金額をだす。(アプリ「おかいものレジスター」)

- 4 【表現・発信】 情報を組み合わせ、課題に対する考えを表現する。(タブレットでの写真撮影)
(Sky Menu Cloud 発表ノート)
- 5 【振り返り】 学習を振り返り、まとめる。(Google Forms)

第1次では、お金の種類(硬貨)を知り、模型の硬貨を使って種類ごとに並べ、両替ができるようにする。パワーポイントで作成した「お金の種類」「お金の払い方」「おつりの計算」を使って、グループ内で、どんなお金の種類があるのか、どんな払い方があるのか、どんなやりとりをしていけばいいのかなどを具体的に例示しながら、グループで教えあいながら進めていきたい。お金の模型も用意し、実際にレジで払う活動を取り入れながら、学習を進めていく。

そして、買い物をするときにはお店屋さん側とお客さん側でどんな言葉が必要かを考えさせる。買い物に行った時のことを思い出させるようにする。難しいようであれば指導者がお店屋さんとお客さんに分かれてサイレントで買い物の仕方を実演するとイメージが湧きやすいようにする。

第2次では、「スーパーたきがわ」を作ることを知らせ、スーパーに並んでいる品物を考えることができるようにする。品物は、紙粘土を使って野菜や肉などを作るようにする。イメージがわきやすいように、「紙粘土でニンジンをつくる」などのビデオを見て、作るもののイメージを膨らませて、制作に取りかかるようにする。値札やチラシ、お客さんにかかる言葉なども考え店側は品物を売りたい、買ってほしいという気持ちを高めることができるようにする。お客さん側は、店員さんにかかる言葉を考えるようにする。(これください。いくらですか。など) 気持ちよく買い物ができるようにするために必要なことを出させるようにする。活動の興味が持続するようにチラシや自分が食べたお菓子や食品の袋や箱を集めたり、ごっこ遊びやおつかいや買い物ができる環境を整えておく。また、グループを分けて買い物のロールプレイング練習を行う。練習をすることで買い物の流れを身に着けるようにする。

そして、買い物ごっこを多目的室でする。1回目は、お使いカードを使って指定されたカードに書かれた品物を選んで買い物をする。2回目 1000 円で、指定されたメニューに必要な材料を買い物する。

本時(買い物学習 2 回目)では、カードを選び、書かれたメニューに必要な食材を買い物する。買いたいものを選んで、値札から値段を読み取りお金を出して品物を買うようにする。買い物をするときには、有機野菜とそうでないもの、国内産と外国産というように、異なる金額のものを用意しておき、児童が 1000 円という値段で上手に買い物ができるよう考える機会を持つことができるようにさせたい。計算が苦手な児童には計算機を使っていいことを伝える。お店役になったときには、「いらっしゃいませ」、「〇〇円になります」、「おつりは〇〇円です」などのようにコミュニケーションをとることができるように、掲示物も用意する。お客さん役になったときには、「これください」、「いくらですか」、「ありがとうございます」などのコミュニケーションをとることができるようにしたい。店員さんとお客さん役を途中で交代をし、両方を体験できるようにする。

課題も持たせ方、振り返りでは、ワークシートを用いる。ワークシートには、本時の活動に合わせた挿絵を用意し、本時の課題は事前に記入しておくようにする。振り返りの時は、グループになり、活動の様子を写真で見て、自分たちの活動を振り返らせ、ワークシートに記入し、全体で交流する。発語が苦手な児童には、気持ちカードをもたせて、自分の気持ちを表現させたい。

第3次では、買い物学習をしての感想や、実際に買い物をした感じたことを絵や文で書くようにする。

8. 学習計画 (全6時間)

	時	主な学習活動	評価基準	ICT 活用 情報活用スキル※
お買い物 の計画を立てよう	1	① 買い物学習についての見通しをもつ。	・金銭の見分け方や数え方を理解し、簡単な買い物ができる。【知識及び技能】 ・買い物に関心を持ち、活動に意欲的に取り組むことができる。【主体的に学びに向かう力】	・ Sky Menu Cloud 発表ノート ・ Microsoft Power Point ・ Microsoft Power Point
		② お金の学習をする。(お金の種類)		
		③ 「お金の数え方」		
		④ グループで、どんな言葉のやり取りがしているか考える。お金の数え方		
	2	① お金の学習をする。「お金の払い方」	・金銭の見分け方や数え方を理解し、簡単な買い物ができる。【知識及び技能】 ・買い物に関心を持ち、活動に意欲的に取り組むことができる。【主体的に学びに向かう力】	
		② 「お釣りの計算」		
		③ 支払いのやり取り、をグループごとにやってみる。		
		④ お店屋さんごっこで、なにか必要なものはないか、グループで話し合い、用紙に書き込む。		

お店の準備と買い物をしよう	3	1. 買い物ごっこの計画を立てる。模擬店に必要な、もの、ちらし、看板などをつくる。	・買い物に関心を持ち、買い物の楽しさを味わいながら、活動に意欲的に取り組むことができる。 【主体的に学びに向かう力】	・EDCOM スクールライフノート
	4	1. 買い物ごっこをする。 (お使いカードを使ってカードに書かれた品物を選んで買い物をする。)	・「売り手」「買い手」の立場を理解して、人と応対することができる。【思考力・判断力・表現力】	
	5 本時	1. 買い物ごっこをする。 (1000円で、選んだカードの献立に必要な品物を買い物する。)	・必要な品物を選んだり、自分の欲しいものを選んだりすることができる。【思考力・判断力・表現力】 ・金銭の見分け方や数え方を理解し、簡単な買い物ができる。【知識及び技能】	
ふりかえろう	6	⑧買い物をして楽しかったことを絵や文に表す。	・活動を振り返り、頑張ったことを発表したり、ワークシートに書いたりできる。【主体的に学びに向かう力】	Google forms

9. 本時の学習 (5/6)

(1) 本時の目標

- ・決められた品物を選び、必要な金額を用意して買い物をすることができる。

(知識及び技能)

- ・店員役とお客役に分かれ、買い物のやり取りをすることができる。

(思考力、判断力、表現力等)

(2) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価基準等
1. 始めのあいさつをする。 ・授業の始まりがわかる。	・全体のめあてと個人のめあてを確認し、見通しを持つことができるようにする。	・活動に取り組もうとする意欲が見られる。
2. 本時のめあてを確認する。 ・めあてを読む。		
1000円で、メニューのざいりょうを かいものしよう。		
3. 今日のポイントを確認する。 ① 相手の目を見て話そう。		

<p>② カードのメニューに必要な材料を買い物しよう。</p> <p>③ 仲良く協力して活動しよう。</p> <p>4. ワークシートに書かれた個々のめあてを確認する。</p> <p>5. おつかいカードの中から1枚選ぶ。</p> <div data-bbox="97 712 552 848" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1000円で、選んだカードの献立に必要な品物を買い物する。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・お客さんとお店の人のやり取りの掲示物を見て、流れをつかむことができるようにする。 ・本日は1000円以内で買い物することを確かめるようにする。 ・みんなが楽しくなるような活動にしようという意欲を持てるようにする。 ・今日のポイントを踏まえたうえで、個々のめあてを再度確認できるように助言する。 ・1グループから2人ずつカードを取りにくるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物の大体の手順が分かる。 <p>(準備物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・本時のめあてをつかむことができる。
<p>6. 買い物ごっこをする。</p> <p>① 掲示物や表を見て役割を確認する。</p> <div data-bbox="97 1070 552 1406" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈店員A役〉</p> <p>①「いらっしゃいませ」を言う。</p> <p>②店員Bから受け取った商品をエコバッグに入れる。</p> <p>③預かったお金の金額をいう。「何円お預かりしました。」</p> <p>④お釣りを用意する。</p> <p>⑤お釣りを渡す。</p> <p>⑥「ありがとうございました」を言う。</p> </div> <p>② 役割を交代する。</p> <div data-bbox="97 1597 552 1989" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈店員B役〉</p> <p>①「いらっしゃいませ」を言う。</p> <p>②商品にバーコードリーダーを当て、一つずつ店員Aに渡す。</p> <p>③レジスターの合計の金額を言う。</p> <p>④商品をエコバッグに入れて客に渡す。</p> <p>⑤「ありがとうございました。」を言う。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで1000円の予算内に買い物ができるようにする。(選ぶ品数は3～4個) <div data-bbox="552 1070 1074 1485" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・A・Bグループが買い物。1人が撮影係(活動の様子を写真にとる。) C・Dグループがレジ役・サービスさんなどになる。(活動の様子を写真にとる。) ・レジは2か所 ・終わったら、役割を交代する。(c・dが店役、A・Bがレジ役) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・レジ係の言葉を掲示し、関わりながら活動できるようにする。 ・合計金額やおつりの計算ができるように、タブレットの計算機能を使うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・品物を選び、値段に見合うお金を支払うことができる。 ・買い物をするときや、売る時に必要な言葉を進んで言うことができる。 ・進んであいさつができる。 ・計算機能を使って計算をし、お金の受け渡しができる。 ・お店屋さんやお客さんの役割を楽しみながら、買い物をすることができる。 <p>(準備物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末 ・大型スクリーン ・品物 ・レジかご ・硬貨

<div style="border: 3px double black; padding: 5px;"> <p>〈お客役2名〉×2</p> <p>① 店に入りレジかごを持つ。</p> <p>② 商品を選んでかごに入れて、レジに出す。</p> <p>③ お金を支払う。</p> <p>④ 商品とレシート、お釣りを受取る。</p> <p>⑤ 店を出る。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・お客さんの言葉を掲示し、関わりながら活動できるようにする。 ・正しくお金を払うこと、あいさつの言葉をはっきり言うことに気を付けるように助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レシート ・バーコードリーダー ・店員エプロン ・手順表 ・エコバッグ
<p>7. 本時の学習を振り返る。</p> <p>①写真で学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子を撮影したものをもとに学習を想起させる。 ・ワークシートに書かれている個々のめあてを達成できたかどうか振り返る。 ・グループの中で個々のめあてを達成できたかどうかを発表する。 ・発表ノートに班の意見をまとめて代表が発表する。 ・Google forms に全体のめあてを達成できたかどうかを入力する。 ・全体で交流する。 <p>③一人一人の頑張った点や良かった点を共有する。</p> <p>7. 終わりのあいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日直の合図に合わせて挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の頑張りにも気付けるように働きかけるようにする。 ・指導者が、写真が見やすいようにセッティングする。 ・指導者が、指揮役を補佐し、グループで意見がまとまるように調整する。 ・買い物ができたことを称賛し、ともに喜びあえるよう言葉を添えるようにする。 ・指導者が全体の活動を Google forms での結果をもとに総括できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく買い物ごっこをすることにより、買い物への興味関心をもつことができる。 <p>(準備物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末 ・小型スクリーン ・気持ちカード ・ワークシート ・Sky Menu Cloud 発表ノート ・活動をふりかえり、自分やともだちのがんばったところを見つけることができる。

(3) 板書計画

スーパーのびのびでかいものをしよう。

かいものごっこをしよう

たのしく

なかよく

めあて

1000円で、メニューのざいりょうを かいものしよう。

今日のかつどう

1. あいさつ
2. めあて
3. 今日のポイント
4. かいものごっこ
5. ふりかえり

(きょうのぼいんと)

1. めをみて はなそう。
2. おかねをつかって
かいものをしよう。
3. なかよくきょうりよく
して かつどうしよう。

お客さんとお店の人のやりとり

「いらっしゃいませ」
「こんにちは。これください。」
「わかりました。」
「あわせて〇〇円です」
「おねがいします。」
「〇〇円おあずかりします。」
「おつりは〇〇円です。」
「ありがとうございます。」
「ありがとうございました。またお
こしてください。」

黒板

	ホワイトボード							
		黄色				白		
モニター	5年T.RO	1年S.S	6年Y.Y		4年T.N	1年O.Y	5年H.Y	モニター
		4年H.G	2年I.T		1年Y.K	2年M.R	2年H.T	
		赤				青		
モニター	2年I.S	6年A.Y	4年A.S		2年S.R	5年T.RN	1年H.K	モニター
	4年Y.X	2年O.T			4年I.H	2年I.S	6年M.A	

ついで

